

2026年度 第1回町田市立博物館運営委員会 議事録

1 開催日時：2026年7月30日（木）午後2時～4時

2 会 場：町田市庁舎8階 会議室8-1（リモート併催）

3 配布資料：

資料1-1 2025・2026年度に開催した事業

資料1-2 2025・2026年度に開催した事業（写真）

資料2 2026年度中に開催予定の事業

資料3 2027年度の事業予定

4 出席者：【委員】

井上 暁子 委員長	今井 敦 副委員長	椿 敏幸 委員
宮原 裕美 委員	隅田 克思 委員	高橋 健志 委員
伊藤 嘉章 博物館館長		

5 議 題（報告）

（1）報告-1 2025・2026年度に開催した事業＜資料1-1、1-2＞

事務局 展示3件、展示関連事業2件、体験講座7件、学校連携4件、機運醸成イベント1件、整備関連事業2件、ブース出展7件を行った。

委 員 昨今の社会情勢を考えるとAIへの依存が課題となっており、オンライン上での接触に対して物理的な接触が重要視されてくるとされる中で、自らの手で経験することはAIネイティブの子どもたちにとっても重要である。こうした戦略を前面的に出しても良いのではないかな。

事務局 実施時の参考にしたい。

（2）報告-2 2026年度中に開催予定の事業＜資料2＞

事務局 展示2件、体験講座13件、学校連携1件、機運醸成イベント1件、整備関連事業2件、ブース出展10件を行う予定である。

委 員 学校連携は非常に重要であると思っている。日本科学未来館や上野の国立科学博物館では学校団体などを対象に教員向けツアーなどのイベントを実施している。ツアーに参加していただき修学旅行などの参考にさせていただいている。新しいミュージアムができれば開催されたらどうか。また、学童保育と連携してイベントを実施しても良いのではないかな。

事務局 学童保育については声掛けをいただいております、実施する方向で進めている。第2回運営委員会で報告できると思う。

(3) 審議 2027年度の事業予定<資料3>

- 事務局 展示3件、展示関連事業1件、体験講座14件、学校連携1件、機運醸成イベント1件、ブース出展7件を行う予定である。なお体験講座の詳細については、今後講師の先生と詰めていき、何かしら新規のことができるよう検討する。
- 委員 大阪市立東洋陶磁美術館は、展示の内容が十分に周知されているとは言えないので、ショート動画をYouTubeに投稿したところ21万回の再生があった。当館では年間の総来館者数は7万人程度である。編集を変えたものを4通り用意したが、館付属のカフェでスイーツを食べているところを映したバージョンが21万回再生であった。美術館におけるカフェの重要性を再確認したので、町田市でも見直しの参考にされたらどうか。
- 事務局 今後の参考にさせていただく。
- 委員 運営委員会に初めて参加して、博物館について初めて知ること多かった。知らなければ始まらない、行ってみないと分からないことが多いと感じる。SNSにも投稿されているが、アカウントのフォロワーが増える取り組みを行えば、来場者数にもつながるのではないかと。
- 委員 版画美術館もそうだが国際を名前に冠したとき、どのように展示し、音声ガイドをどうするかなど、展示の仕方をどうするか。
- 委員 小中学生が版画美術館に一番来るのは、1・2月の成果展である。保護者も一緒に来ることもあり大人にもアプローチができるため、イベントなどで子どもたちの成果物が見られるものがあればよいのではないかと。
- 事務局 今後検討したい。
- 委員 昨年度よりアプローチの深まりを感じ、バージョンアップしていてうれしく感じる。小学校の授業で図工(工芸)は扱いが難しく、電気窯については市内の小中学校で設置している学校は少なく、また設置されていても長年稼働していない場合もある。指導要領では工芸は積極的に扱われておらず、あっても鑑賞のみを行う状況である。その中で、町田市の教員は鑑賞と制作を一体化に捉えた授業づくりに取り組んでいる。授業づくりの中でどの学校も工芸を教材化したいと強く思っている。2026年度は粘土など図工の教材を取り扱う業者の方を講師に迎えて、教材としての粘土を教えていただき、大変好評であった。教員の多くは博物館の方から様々なことを吸収したいと思っている。版画美術館が今後工事に入ると小中学生の成果展がストップすることとなるため、博物館には何かしらの事業を考えていただきたい。
- 事務局 今後の参考にさせていただく。
- 委員長 2027年度事業予定について委員会に諮る。
- 委員 異議なし。
- 委員長 これをもって閉会とする。